



安曇川調べでは、三田川と違って水がきれいで魚がいっぱいた。帰り歩いている時も、山からとてもきれいな水がわき出ていた。次にお箸作りではA号機B号機の形でちゃんとお箸が作れるようになっていて、かんなを使うのは初めてだったけど楽しかった。アマゴつかみではとてもすべってとりにくかったけど、竹串を刺す時の方が怖くて、時間がかかりました。アマゴと塩がとても合っていて、おいしかったです。

生き物がたくさんいるし、木もたくさんあって、自然豊かだと思った。命の学習を通して、いつも食べている魚にも、しっかりと命があり、その命が無駄にならないように、残さず食べることが大切だと分かった。また行きたいと思った。

「命の学習」で改めて命は大切ということを知ったし、魚や牛などの命をもらって、私たちは栄養をもらうことができていると思いました。森林は川の水をきれいにするというのは大体知っていましたが、災害を防いでくれるというのはすごいことだと思いました。二酸化炭素を吸って酸素にしてくれるというのもすごいです。「これからも森林を守っていかなくちゃ」と思います。

## 児童の感想 (抜粋)

安曇川探検で、どんこやよしのぼりなど、とってもたくさんの魚や生き物がいることを知りました。お箸作りでは、お箸を最初に完成させたのが私だったから、私がリーダーみたいになって、人を助けたり手伝ったりできたので、楽しくてうれしかったです。

命の大切さや森林の働きなどを知ることができました。これからの命を大切にしていきたいです。

アマゴのおかげで、命の大切さを知ることができました。自分が魚だったら、食べられたくないから必死ににげると思います。たぶんアマゴも同じ気持ちだったんだろうな。

